

※自由記述欄の主なご意見と、今後の幼稚園の取り組みです。掲載されていないご意見につきましても、一つ一つ検討しています。

	保護者の方の主なご意見（○は良い評価をいただいたもの ●は要望等）
教育課程・教育活動	<p>○学年・学級の教育目標を設定し、それに向けて教育を進めているので、とても安心して子どもを預けておくことができる。</p> <p>○子どもが興味をもてるよう、遊びや制作を提案してもらえるので、自分からやり始めたものに対する吸収力や自分が考えてそこから発展させる力に驚かされるが増えている。</p> <p>○興味を引き伸ばし、「なぜ」を深く考えさせてくれるため、深く考えられる子どもに育っているように思う。</p> <p>○遊びの中から自然、交友、運動に興味をもち、個性を發揮し、挑戦したり継続したりする姿勢を学ぶことができた。</p> <p>○畑での活動が充実しており、土を触る、植え付け、収穫などの経験は子どもたちが成長する過程において、とても役に立つ経験、知識になると思う。</p> <p>○折に触れ、季節の遊びを取り入れているのでありがたい。</p> <p>○日々の園生活の中で、他学年と交流しやすく、また特別支援学校との交流もあり、互いの成長においてとてもよいと思う。</p> <p>○子どもが、家庭ではなかなか経験することのできないこと（さつまいも掘りや餅つき等）を経験できてありがたい。</p> <p>○個の思いが生きる遊びをしたり、集団生活の中で、自分の気持ちを調整したり、バランスのとれた園生活でよいと思う。</p> <p>○保育参加を通じ、園内での様子、教職員の関わり方等を知ることができ参考になった。子どもの意志を尊重し見守るという態勢を、育児をしていく上で参考にしたい。</p> <p>○遊びや活動の中から自ら気付き学んでいる様子が、子どもの成長から感じられる。汚れても、転んでも気にせず関心のあることに取り組み、様々な経験をして子どもらしく育っている。</p> <p>○一人一人の発達を大切に考えてもらえるので、子どもは自分のやりたい遊びを思いっきりやることができる。また、クラスで過ごすことで協調性を身に付けつつあると感じる。</p> <p>○園生活を通して、着替えや後片付など、「自分でできることは自分でする」ということが少しずつ身に付いていると思う。</p> <p>○降園時の担任の話は、成長段階による遊びや行動、子どもの思い、対応の仕方等、親としてとても学ぶことが多い。</p> <p>○園児一人一人の自主性を重んじ、自己肯定感が育まれていると思う。集団生活をする中で友達に自分の気持ちを伝えたり、友達の気持ちを理解しようとしたりすることが、時には先生に助けをいただきながら少しずつ上手にできるようになっていると思う。</p> <p>●マット運動や跳び箱などの器械体操も取り入れてもらえるとよい。</p> <p>●園での様子（親から見ている我が子とは違う面）を、知る機会がもう少しあったらうれしい。</p> <p>●年中・年長では、鍵盤ハーモニカやカスタネットなどの楽器を使って音楽に親しむ機会があるとよい。</p> <p>●月曜日は午前降園のため、子どもが「もっと遊びたかった」「○○を作っている途中だったのに」と言い、遊び足りなさを感じている様子なので、他の日と同じ降園時間だとよい。</p> <p>●お正月遊びも、もっとできたらと思う。</p> <p>●年長では、小学校入学準備も踏まえ、みんなで取り組む楽しさを感じられるよう、みんなで取り組む歌やお遊戯を増やしてほしい。</p> <p>●運動会の練習をもっとやってほしい。子どもたちも楽しみにしている行事なので、まとまりのある運動会になると思う。</p> <p>●個の思い、豊かな体験、主体的に、必要な経験が得られるようにとあるが、それに固執しすぎて危険なことに対し、少し野放しにしている場面があったように感じる。場面、個々の性格を考慮し、早めに介入していく大人の指導が必要なことがあると考える。</p>

	<p>【今後の幼稚園の取組について】</p> <p>◇身体の調和的な発達を促すために、遊具やマット、跳び箱等も含め、幼児の興味の広がりに沿って展開する様々な活動を通して、十分に全身を動かし、活動意欲を満足させる体験を積み重ねていきます。</p> <p>◇これからも、旋律のある楽器や打楽器等も使う場面をつくり、幼児が音や音楽で十分遊び、表現する楽しさや表現を工夫してつくり上げる楽しさを味わえるようにしていきます。</p> <p>◇幼児の内面の育ちを重視し、一人一人の思いや願いを大切にされた保育の一層の充実に努めます。</p> <p>◇子どもに危険回避能力を育てられるように、園生活の中で様々な体験をし、自分で考えて行動することで安全に対する意識を高められるようにしていきます。</p> <p>◇望ましい人間関係、互いを大切に、互いに高め合えるような集団となるよう、直接的・具体的な体験を重視し、子どもたちの思考力や表現力を育てていきます。</p> <p>◇幼稚園教育のねらいや幼児期の特性、発達の筋道等について、集会や「ふようつうしん」を通して、具体的にお知らせしていきます。</p> <p>◇教育時間については、子どもへの負担等についても考慮しながら検討していきます。</p> <p>◇自分から気付いて、自分のことを行えるよう、また、基本的な生活習慣が徐々に身に付くように今後も繰り返し指導していきます。しかし、このような習慣は園での指導のみで身に付くものではありません。保護者の皆様の一層のご協力をお願いいたします。</p>
健康教育について	<p>○季節に応じて担任と養護教諭が、分かり易く保健指導や各種健診をしてくれるため、自分の体への興味や意識が明らかに違ってきているので助かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年少から歯みがきの習慣を取り入れてほしい。 ●夏は、水筒が持参できると、飲んだ量がわかるので安心できる。 ●怪我にいたるような行動は、その場で指導してほしい。
て	<p>【今後の幼稚園の取組について】</p> <p>◇今後も、養護教諭の専門性を生かして保健指導や保護者への情報発信を行います。また、担任との連携を図りながら、幼児の健康への関心を高めていきます。</p> <p>◇歯科衛生士や警察などの外部機関とも連携し、保健指導や安全指導を充実していきます。また、全保護者の方に「りすの会①」に参加していただいたり、園での指導をご家庭にお伝えしたりして、保護者の方と同一歩調で指導していきたいと思えます。</p> <p>◇危険回避能力を育てられるように、火災や地震、不審者といったケースを想定した避難練習を行って、非常時の避難の仕方を身に付けたり、自分で考えて行動することで安全に対する意識を高めたりできるように援助していきます。</p> <p>◇幼児が安全に伸び伸びと遊べるように、担任だけでなく全職員が連携して日々の保育にあたっていきます。</p> <p>◇歯みがき等、集団生活の中での安全性も考慮し、発達に合わせて習慣付けられるようにしていきます。</p> <p>◇幼児が自分で、のどが渇いたら水道水を飲むという経験もさせたいと考えています。</p>
施設・設備について	<ul style="list-style-type: none"> ●保育中、全員に目が行き届くというのは難しいと思うが、怪我等が心配なので、安全管理への配慮をしてほしい。教員数を増やす、室内・外の役割を決めるなどしてほしい。 ●トイレの改修をしてほしい。 ●魅力的な園舎だが、トイレや保育室がとても古く、改築が必要だと思う。 ●園舎の改築。
て	<p>【今後の幼稚園の取組について】</p> <p>◇平成29・30年度の2年間で、附属幼稚園の園舎を改築します。平成29年度が、現在の園舎での最後の1年となりますが、これまで通り、毎月の安全点検結果に基づき、危険箇所については修理等に速やかに取り組みます。</p>

	<p>◇幼児の生活や遊びに適した園舎が新築されるよう、今後の実施設計に保育現場の意見を反映させていきたいと思ひます。</p> <p>◇教職員間の連携を一層密にしながら園児の安全管理に努めます。また、遊具の適切な使い方についても、その都度、適切に指導していきます。年度始めに行う「園舎内・園庭等の約束」の確認もよろしくお願ひいたします。</p>
<p>保護者との連携について</p>	<p>○「ふようつうしん」や学年・学級集会では教育のねらい、遊びのもつ意味を伝えてもらひ、就学前の遊びの重要性が分かり、「勉強させなくてよいのか」という不安がなくなつた。</p> <p>○「ふようつうしん」や学年・学級集会・保育参観・保育参加などを通じ子どもがどのような園生活を過ごしているのか、把握できてありがたい。</p> <p>○保育参加は、園の保育方針に触れ、子どもの様子もわかるのでよい機会だと思ふ。</p> <p>●わが子の幼稚園での様子や出来事を話してほしひ。</p> <p>●個人面談がもっとあるとよい。</p> <p>●クリスマスやあずさの会等の行事の内容をビデオ撮影し、学級集会でその一部（ダイジェスト版）を見せただけだと園内の活動の様子がわかる。</p> <p>●2学期か3学期に希望者だけでも面談があるとよい。</p> <p>●学級や集団の様子や成長は分かり易いが、個の様子、個の成長を感じられる場が限られているように感じる。学年の会は貴重なよい機会だった。</p> <p>●保育参加は、幼稚園教育のねらいを理解しやすく、子ども同士の関係や発達の状況もわかりとてもよい。しかし、1日、自分の父や母が先生となり、他の子どもと遊んで、あまりかまってくれないのはつらいと思ふ。給食の時間くらいは自分の親と同じグループでよいのではないか。遠足の付添時と同様である。</p> <p>●インフルエンザや水疱瘡でお休みの子がいたら、注意したり観察したりしたいので教えてほしひ。</p> <p>●園の行事等の手伝ひに関して保護者同士の温度差を感じる。事情があるのは分かるが子どもは同じ環境に預けているので協力する姿勢をもってほしひ。</p>
	<p>【今後の幼稚園の取組について】</p> <p>◇インフルエンザや水疱瘡等の情報については、降園時に担任から伝えていきます。</p> <p>◇保育参加につきましては、子育て支援につながるという考えのもと、目的や意義について十分説明し、打合せや振り返りを含めて、一層の充実を目指します。</p> <p>◇必要に応じていつでも、担任に相談していただきたいと考えています。担任は降園後、保育室におりますので、声をかけてください。また、相談したいことをお知らせメモを使ってお伝えいただければ、こちらから声をかけて、直接話ができるようにします。家庭と園とが連携協力してお子様の育ちを支えていきたいと思ひます。</p> <p>◇お子様の様子について保護者の方とお話ができる時間を更に生み出せるかどうか、検討していきます。</p>
<p>研究について</p>	<p>○「自己肯定感を育む」というテーマがすばらしいと思ふ。自己肯定感が育まれた子どもに育てるためには、親自身もとても学んでいきたい。</p> <p>○幼児の成長・発達を整理し、見直し、改善を進めていくことはいいことだと思ふ。</p> <p>○ホームページで見ることができるので勉強になる。</p> <p>○学部・大学院と連携して研究が進められる利点を生かして積極的に研究を進めてほしひ。</p> <p>○成長とともに他者とのかかわりに関心を持ち、他者への思いを口にするようになった。先生方の関わり方の影響もあるのかと感じる。</p> <p>●研究内容についてはできる範囲で開示し、講演会や学年・学級集会等で聞きたい。園内研究の内容、公開研究会の参加者の意見などを通信で伝えてほしひ。</p> <p>●自己肯定感については大きな関心があり、育児の参考にしたいので、研究成果を知りたい。</p> <p>●研究は園のためであつて、在園中の園児のためではないなと最近思ふ。</p> <p>●発達障害の子どもへの接し方を研究すると興味深い。</p> <p>●「自己肯定感」はとても貴重なテーマであり、実践していると感じるが、保護者全体に「自己肯定感」自体が伝わっていないところもあるように思ふ。</p> <p>●他者への思い、他者からの思いを学べているのか疑問に思ふ場面があつた。疎外感を感じているかもしれ</p>

	<p>ない幼児への指導などがあれば聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研究のため、「見守る」というのは理解できるが、危ない行動には、もっと目を光らせてほしい。 ●子どもの遊びの妨げやストレスにならなければよいと思う。 <p>【今後の幼稚園の取組について】</p> <p>◇園の研究で得られたものを毎日の保育の充実・改善に生かすとともに、保護者の皆様にも情報を発信し、研究の成果を共有していきたいと考えています。学級集会等で、保育の具体的な場面を通して説明したり、HP上で公開する等の方法を考えていきます。</p>
<p>実習について</p>	<p>○先生や親とは異なる大人（学生）と関わることにより、普段と違った体験や思いが感じられる貴重な時間だと思う。多くの刺激をもらっていると思う。</p> <p>○実習生と触れ合うのを子どもは楽しみにしている。</p> <p>○先生が増えることの安心感もあるようだ。</p> <p>○7月に参加した「親子で遊ぶ日」では、大学生にいろいろ教えてもらったことが大変うれしく記憶に残っているようだ。</p> <p>○学生にとって、今後に必要な資質・能力が身に付いてよいと思う。</p> <p>○運動会を一緒に過ごしたことで、子どもの印象に残っているようだ。</p> <p>○実習生にとっても子どもにとっても互いの成長になるよい体験だと思う。</p> <p>○実習生は新鮮で、教育する上での創意工夫を感じる。</p> <p>○目的をしっかりと実習生が多く見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもが話す内容だけではどのように活動しているのかわからないので、教育実習生から降園時に、挨拶などがあるとよい。 ●学生・生徒さんたちの成果発表のようなものが短いレポートのようなものでもあれば、より理解が深まると思う。 ●どんな方が実習に来ているのか、子どもたちとの交流の様子などを、親も見ることができるとよい。
	<p>【今後の幼稚園の取組について】</p> <p>◇附属学校の使命として、教育実習の充実だけに限らず、体験的科目やインターンシップなど学生の指導に、一層力を入れていきます。</p> <p>◇教育実習中は、全ての実習生に対して担当の学部教員が、保育参観をし、その研究会に出席をしています。さらに、学生が幼稚園教育について知る機会が増えるよう、2年生の観察実習についても、引き続き学部要望していきます。</p>
<p>学部との連携等について</p>	<p>○毎年行われている「クリスマスコンサート」は、子どもたちがいつも楽しかったと話しているので、これからも継続してほしい。</p> <p>○教育の連携ができ、普段できない経験ができるのでとてもいいと思う。</p> <p>○卒業論文の研究に貢献できてよかった。片付けの絵本の研究に興味をもった。</p> <p>○教員が教育熱心で、暖かみのある教育学部だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幼児の興味をひくような科学やその他の催しを企画してほしい。 ●サッカー教室、体操教室があると子どもは喜ぶと思う。 ●卒論に協力できたことは、子どもの側からも有意義だった。仕上がったものについて、簡単に教えてもらいたい。 ●もっと、大学、附属中、附属小と関わりが増えたら子どもにとっても良い経験になるのではないかな。 ●園での遊びや活動が幅広いので、教員の数を増やしてほしい。
	<p>【今後の幼稚園の取組について】</p> <p>◇行事等で学部教員や学生に協力していただくことで、学部とのかかわりをより強めていきます。また、今後も大学での公開講座等について掲示してご案内していきます。</p> <p>◇園舎新築に際しても、学部と綿密な連絡をとっていきます。</p>

